

■ デジタルものづくり対応支援事業 静岡大学の学部生による地域中小企業(会員限定)での インターンシップ事業「2025年度 成果報告会」

次世代自動車センター浜松では、中小企業のデジタル人材確保を目的とした静岡大学の学生による、ものづくり中小企業でのインターンシップ活動を行っています。

2025年度は、3月2日から3月13日の期間で、受入企業2社において2名の学生が参加して、それぞれ4～5日間のインターンシップの実習を実施しました。

今回、インターンシップ事業の成果を確認し関係機関において成果を共有するため、受入企業及び参加学生の皆様にご参集いただき、当センターの堀センター長からの成果報告と実習を指導した担当者様と参加学生の皆様からコメントをいただき、成果報告会を開催しました。

■日 時： 2026年5月21日(木) 15時30分～16時30分

■場 所： 静岡大学浜松キャンパス

■参加者： 静岡大学・受入企業2社/学生2名・大学関係者1名・受入企業3名

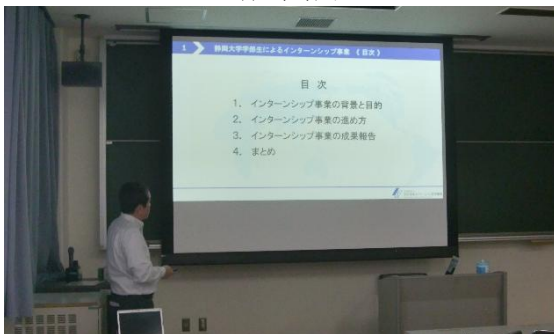
＜開会挨拶＞



＜ご挨拶：静岡大学 富田教授＞



＜センターからの成果報告＞



【受入企業・参加学生からの報告】

＜やまと興業(株)様＞



＜浜名部品工業(株)様＞



【参加者の声】

<受入企業>

- ・若い学生が職場に加わることで職場の雰囲気は明るくなり活気もでた。また、学生と関わりを持った社員自身の指導力、説明スキル向上につながった。
- ・学生の受け入れにより「職場の活性化」「新たな知見」を得られ、組織前提の成長や業務改善につながる有意義な時間となった。
- ・説明に対して非常に熱心に耳を傾け、疑問点を積極的に質問する姿勢が見られた。
- ・CAD や設備操作など初めて触れる内容でも理解が早く、意欲的に取り組んでいた。
- ・全体を通して、ものづくりへの興味や意欲を感じた。

<参加学生>

- ・自動車部品と言っても、自分が見たことも考えたこともない部品が多くあった。
- ・日常生活で目にする様々な製品が、工場などで製造されて消費者に届いているというイメージを持つことができた
- ・一企業であっても多くの課が存在し、製造現場とコミュニケーションをとり業務の効率化、デジタル化を行っていることを認識できた。
- ・大量生産の現場において、常に「質の良い製品を、早く」が意識されていた。
- ・生産技術は広範囲な知識が要求され、現場との意思疎通が非常に大切にされていた。
- ・自分が本当に就きたい職業を少し現実的に考えることができた。
- ・今回、あらゆる場面でコミュニケーション能力や柔軟性が必要であると感じた。
- ・金属試験方法や熱処理など大学で学んでいることが実際に見ることができ、興味や理解がさらに深まった。